

【主催】QCサークル関東支部茨城地区

【後援】茨城県／（一社）茨城県経営者協会／（一財）日本科学技術連盟QCサークル本部

QCサークル茨城地区 第6733回夏季大会

2026年8月28日 大会企画チーム発行

7月28日、第6733回夏季大会が開催されました



QCサークル茨城地区では、7月28日、水戸市民会館にて夏季大会を開催しました。発表、来場して下さいました皆さま、ありがとうございました。審査結果と表彰委員長総評を掲載いたします。

審査結果

【SGH部門・・製造・技術・品証、JHS部門・・事務・販売・サービス】

茨城県知事賞

【SGH部門】株式会社小松製作所 茨城工場 「Advanceサークル」

【JHS部門】日立建機株式会社 「オンパトロールグループ」

茨城県議会議長賞

【SGH部門】株式会社小松製作所 茨城工場 「Advanceサークル」

大会賞

【SGH部門】Astemo株式会社 佐和工場 「黄金SOUL PLUS ONEサークル」

【SGH部門】株式会社日立製作所 大みか事業所 「コーティングマンサークル」

【SGH部門】日野自動車株式会社 古河工場 「うわいしきサークル」

優秀賞

【SGH部門】株式会社日立ビルシステム 生産本部 「PATRICKグループ」

【SGH部門】株式会社日立ハイテク 那珂地区 「マニュアル工房サークル」

【SGH部門】三五関東株式会社 「SK工務店サークル」

経営者協会会長賞

【SGH部門】ネグロス電工株式会社 筑波工場 「TEAM Bサークル」



QCサークル茨城地区 第6733回夏季大会

2026年8月28日 大会企画チーム発行

表彰委員長総評

株式会社小松製作所 茨城工場 佐藤 文哉

今回の大会ではS G H部門で7件、J H S部門で2件の事例について、ご発表いただきました。良かった点を2点、欲を言えばという部分について2点、お話しさせていただきます。

まず良かった点として【現状把握】についてです。
各サークルとも現場・現物を重視し、データや事実に基づいた現状把握を徹底していた点が非常に印象的でした。業務プロセスや工数の詳細調査、4M（人・設備・方法・材料）の観点からの分析など、多角的な視点で問題点や攻めどころを明確化していました。また、単なる現象の確認に留まらず、調査結果を数値化して評価していた点も優れていました。FMEAを活用したリスクの定量評価や、エルゴノミクス評価による作業負荷の見える化、リスクアセスメントを用いた危険度の把握など、各種手法を効果的に活用しながら現状を客観的に捉えていたことが、大変参考になる現状把握であったと感じました。さらに、グラフや写真による見える化や有識者・他部署との連携によって分析の精度を高め、真の改善ポイントを明確にしていた点も素晴らしいかったです。

2点目は【テーマの選定】についてです。
各サークルとも、職場の困りごとと上位方針をしっかりと結び付けたテーマ設定ができていました。特に、メンバーの意見を親和図や連関図で整理し、マトリクス評価などを活用して客観的に優先順位付けを行い、自分たちが今取り組むべき課題を適切に選定していた点が印象的でした。また、安全・品質・生産性に加え、環境や働きやすさ、高齢化対応など将来を見据えた視点も多く取り入れられており、活動の意義が明確なテーマ設定となっていました。

さらに活動をレベルアップさせるために、という観点で2点お伝えさせていただきます。

1点目は【横展開】についてです。
各サークルとも期待以上の成果を上げていましたが、その改善を自職場だけにとどめず、他ライン・他設備・他職場へ横展開する視点がさらにあると、企業全体への貢献度がより高まると感じました。優れた改善事例やノウハウを展開することで、より大きな効果創出につながることを期待します。

2点目は【ベンチマーク】についてです。
改善活動は自サークル内の知恵や工夫だけでなく、他職場・他工場・グループ企業・サプライヤーなどの取り組みを参考にすることで、新たな発想や気づきが得られます。業界や他社のレベルと比較するベンチマークを積極的に行い、さらなるレベルアップにつなげていただきたいと思います。今回の大会では、どのサークルも高いレベルで改善活動を実践し、素晴らしい成果を上げていました。今後は「横展開」と「ベンチマーク」をさらに意識することで、改善活動の幅が広がり、より大きな成果につながることを期待されます。

以上が総評でございます。

研修会のお知らせ

第87回 リーダー養成研修会

【日程】2026年10月14日(水)

【場所】水戸市民会館

大会のお知らせ

第6765回 秋季大会

【日程】2026年11月11日(水)

【場所】水戸市民会館